

札幌市議会議員
無所属

中山 真一

市議会奮戦記

特別号 Vol.4

発行:札幌市議会議員 中山真一事務所 市政相談、いつでも受付中です!

〒011-0027 札幌市北区北27条西6丁目1-26
TEL: 090-2541-8286 / FAX: 011-727-0877
E-mail: nakashin27@gmail.com

中山真一 検索
HP: http://snakayama.net/

民間出身、無所属。だから、変えられる!

2015年4月の札幌市議会議員選挙において、初めて議会に送り出して頂いて、はや4年。
議会の常識は世間の非常識。身内に政治家がいる訳でもなく、秘書上がりでもない私にとって、議員としての日々は驚きの連続です。特に、一部の議員や市役所職員の危機感の無さ、現場感の無さは想像を超えていました。市民生活や民間の仕事の仕方とのギャップに、かく然としたことも、一度や二度ではありません。今後も粘り強く市政に風穴を開け続けていきます。市政は私たちの生活に直結しています。今後も声をお聞かせください。札幌の未来を、一緒につくっていきましょう!

プロフィール
1973年(昭和48年)2月7日生まれ。青山学院大学 法学部 卒業。大手プロダクション、音楽制作会社にて、営業・宣伝・新規事業開発・マネジメント等を担当。北海道マーケティング総研(株)にて、道内企業の海外進出・輸出支援・海外での北海道キャンペーンを担当。2015年4月 札幌市議会議員選挙 初当選。
経済観光委員会・議会改革検討委員会委員、維新の党北海道総支部幹事長等を歴任。認知症サポーター。
家族: 妻、妻の母、愛犬マール 趣味: ランニング、読書、神社めぐり



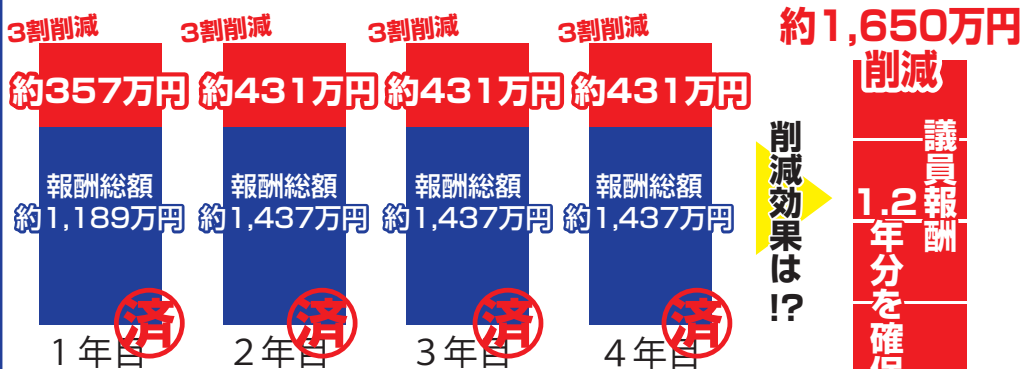
中山真一 市政改革への挑戦 進行中!

1 選挙公約「議員報酬3割削減」に向けて、まずは実行!

- 目的**
- 選挙で「議員報酬3割削減」を公約。実現するには議会の賛成多数で条例の改正が必要。現状は賛成が得られていないので、まずはできることから実践する。
 - 「今の報酬でも足りないくらいだ」という議員も多いので、「3割削減した額でやっていけるか」を実験する。
 - 増税の前にやるべき事がある。まずは議員が率先して、身を切る改革姿勢を示す。それが、古い政治文化を変える、改革の第一歩になる。
 - 議員報酬を削減した分、市民の皆さんに還元する事ができる。

中山真一 これまでの実行経過

1期4年の議員報酬 — 報酬総額の3割削減実験



■報酬の3割を、法務局に「供託」(≒受取り拒否)しています。

●議員全員に換算すると…

議員定数 68人
削減総額(4年間)
11億2,210万2,000円

●議員全員が3割削減すると…

例えば…
年間3,600人の子どもに奨学金が給付できる!
又は、
4年間で480人分の特別養護老人ホームの整備ができる!

※試算方法によって異なります。

「議員など特別職のボーナス増額」についての賛否

自民	立憲	公明	共産	改革	坂本	石川	中山
○	○	○	×	○	○	○	×

②「市政改革」は「議会改革」から

●「市議会議員の期末手当(ボーナス)を増額する議案」に、賛成せず。

多くの市民の生活が向上しない中で、議員のボーナス増は理解できません。残念ながら、多数の議員の賛成により、5年連続のボーナス増額が決定。この5年間で、498,800円の増額に。

●「政務活動費」領収書等を独自にネット完全公開。札幌市議会史上初!!

税金で支給されている政務活動費。情報公開は当然の事。既に多くの議会がネット公開を実施する中、札幌市議会では未だ実現できていません。そこで、まずは独自にホームページで公開しています。

③防災・減災

●今回の震災を踏まえた、緊急対策を提言。
防災ガイド・マップの全世帯への配布、避難所への非常用電源の配備、ペット同伴用の避難所開設。

実現

12月に防災マップの配布。避難所への非常用電源の設置開始。ペット同伴避難所について検討が開始。



④除排雪の構造改革

●市民生活の向上のため、ICT活用によるデータ分析など、本市除排雪全体の再構築を提言。

実現

効果的な除排雪実現のため、AI(人工知能)などを用いる実証実験を開始。

⑤行政改革

●区役所の混雑解消、市民の利便性向上のため、「区役所窓口の土日開庁」実施を提言。

実現

3月と4月の異動期に、全区役所で、初の土日開庁がスタート。



●市役所で相次ぐ職員の不祥事。組織体質を変える必要がある。再発防止のための抜本的な取組みを要求。

実現

職員処分の厳格化。人事評価制度の改善

⑥子育て支援・教育

●子供の支援体制の充実。手続きや相談が1ヶ所で済むワンストップ窓口の設置、訪問型の支援担当者の配置、地域や支援団体との連携強化を提言。

実現

ワンストップ窓口「こそだてインフォメーション」が開設。訪問支援も担うコーディネーターの配置。支援団体との連携を図る専門部署の新設。



⑦健康・高齢者福祉

●通院や買物に欠かせない、高齢者の移動手段の確保が必要。福祉専門部門とまちづくり部門の連携など、取組みを本格化すべきと提言。

実現

交通や移動の課題を解決するため、最新技術を活用した移動実態の把握の取組みがスタート。

今回の「市議会奮戦記」はいかがでしたか? ぜひご意見をお聞かせください!

送付先:FAX 011-727-0877 E-mail : nakashin27@gmail.com

(市政に関する事なども、ご自由にお書きください)

市役所にお越しの際は、会派控室にお気軽にお立ち寄りください♪

(不在の場合もございますので、お越しの際は事前にお電話頂けると助かります)

お名前: _____ お電話番号: _____

ご住所: _____

